

清水要樹

# 南画展

南画展が、年2回の公開展示となりました。

青年の家展示室にて交野市に在住され日本南画院副理事長であった故清水要樹氏の南画の展示を5月と11月に開催します。是非お立ち寄りください。

※昨年度まで毎月第一水曜日、第三土曜日に開催していましたが、本年度より年2回、1週間程の展示に変更となります。

清水要樹（しみずようき）



明治四二年（1909年）三重県に生まれる  
大阪美術学校で関西の南画壇を牽引した矢野橋村に学ぶため郡津に移り住み、帝展、日展などに幾度も入選し関西を中心に南画の発展に力を尽くした。日本南画院の設立に参加し、内閣総理大臣賞をはじめとした多くの賞を受賞。



## 【展示期間】

令和5年 5月2日（火）～5月7日（日） / 10月31日（火）～11月5日（日）  
青年の家 展示室 / 午前10時～午後4時まで（但し12時から12時45分を除く）

【南画とは】 中国の二大流派のひとつである「南宗画」を日本解釈した画派のこと。水墨画のように墨だけで書かれるものや墨彩画のように彩色されるものもある。俳人として知られる与謝蕪村も南画の画家として有名な作品を残している。